

Ⅱ. 10年間の入賞作品

第1回（2007年） 入賞作品

2007年より「地域の安全安心マップコンテスト」の事業を開始した。第1回（2007年）の応募対象は京都市内の小学校に通学している小学生とし、応募数は京都市内の公立・私立小学校4校から合計18点（個人16点、グループ2点）、総勢23名の参加があった。7名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作5点、ユニーク賞2点の合計12点の入賞作品を選出した。

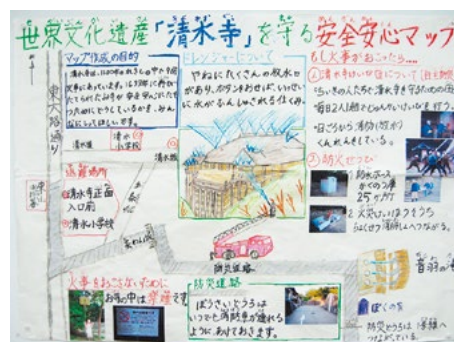
最優秀賞



3年生の作品

『私の通学路もより駅（地下鉄十条駅）安全マップ』

優秀賞



1年生の作品

『世界文化遺産「清水寺」を守るマップ』

入選



3年生の作品

『静原みんなの安全安心マップ』

入選



3年生の作品

『私の学区の通学路 安全な所ときけんな所』

入選



3年生の作品

『新林安全安心マップ』

佳作



2年生の作品
『BICYCLE MAP』

佳作



1-5年生グループの作品
『静原安全マップ』

佳作



4年生の作品
『火の用心！草津宿防災マップ〜消火栓はどこだ〜』

佳作



2年生グループの作品
『下鴨安全安心マップ』

佳作



5年生の作品
『御室小学校校区安全マップ』

ユニーク賞



1年生の作品
『安全安心マップ』

ユニーク賞



2年生の作品
『ぼくの町の安全マップ』

教えて！ ユニーク賞とは？

特に独自性の高い作品に贈られた、第1回（2007年）だけの特別賞。第1回（2007年）は2作品が受賞した。

第2回（2008年） 入賞作品

第2回（2008年）から夏休みの期間を利用したマップ作成を推奨する目的で、コンテストのタイトルを「夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」に変更した。応募対象を京都府内にまで広げ、応募総数131点（個人129点、グループ2点）、総勢134名の参加があった。8名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作5点の合計10点の入賞作品を選出した。

最優秀賞



3年生の作品

『Barrier-Free-Bridge 車いすで安全に見に行く京の送り火』

優秀賞



1・4・6年生グループの作品

『東寺を守る』

入選



5年生の作品

『原谷の安全・安心・調査マップ』

入選



4年生の作品

『ぼくの住む町 危険!! ひやり おととびつくりMAP』

入選



4年生の作品

『防災マップ 消火器・消火栓の位置』

佳作



3年生の作品

『ぼくの町の安心安全マップ』

佳作



3年生の作品

『ぼくの学校ひとまわり安全安心マップ』

佳作



4年生の作品

『京都市伏見区淀地区水害防災マップ』

佳作



3年生の作品

『ぼく的生活Map ～安全な道、危険な場所～』

佳作



3年生の作品

『お家から正雀までの道のり♪』

第3回（2009年）入賞作品

第3回（2009年）からマップコンテストのさらなる事業拡大を図り、応募対象地域を全国にまで広げた。また、今回から安全安心マップの出張授業を企画し、個人による依頼1組（児童1名、保護者1名）に対して実施した。今回の応募数は10点（個人9点、グループ1点）、総勢79名の小学生の参加があった。8名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作4点、努力賞1点の合計10点の入賞作品を選出した。

最優秀賞



6年生の作品
『安井細道ケンマップ』

優秀賞



2年生の作品
『牛ヶ瀬の町』

入選



2年生の作品
『ぼくの住んでいる町の通学路』

入選



4年生グループの作品
『上高野安全マップ』

入選



1年生の作品

『京とぎょえん安心安全マップ』

佳作



6年生の作品

『安心安全マップ』

佳作



2年生の作品

『私の住んでいる町桂坂』

佳作



6年生の作品

『安井学区でおとしよりが歩くのに危ないところ』

佳作



3年生の作品

『私の安全安心マップ (通学路)』

努力賞



3年生の作品

『さいがいそなえものたくさん！MAP』

第4回（2010年） 入賞作品

第4回（2010年）は一般社団法人地理情報システム学会と共催で実施し、今回から国土交通省国土地理院主催「全国児童生徒地図優秀作品展」への応募を開始し、「第14回全国児童生徒地図優秀作品展」に4点を推薦した。出張授業については、府内の小学校にて2回実施し、コンテストの周知も図った。今回の応募数は96点（個人68点、グループ28点）、総勢200名の小学生の参加があり、9名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作5点、地理情報システム学会特別賞1点、コカ・コーラ特別賞1点の合計12点の入賞作品を選出した。

最優秀賞



3年生の作品

『安心安全マップ&町調べ』

● 応募者のコメント ●

これまでバス通学していたのから徒歩通学に変更するにあたり、家から学校までの通学路の安全を調べてみようと思った。徒歩で通学する上で、気をつけなければならぬところをゆっくり、じっくり歩いて調べてみました。

（『第14回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

優秀賞



2年生の作品

『お地蔵さまといっしょ！御所西安心安全マップ』

● 応募者のコメント ●

古い街並みが残る御所西地区には数多くの地蔵尊が祭られています。10世帯～20世帯で構成される町ごとに地蔵尊があり、その数におどろきました。毎年「地蔵盆」が盛大に行なわれ、町内の安全と子供を守る地蔵尊を通して町内のつながりを深めています。マップ作成にあたり「安心安全」地蔵尊へのコミュニティの人々の想いを盛り込みました。

（『第14回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

入選



6年生グループの作品

『安全100%マップ上高野』

● 応募者のコメント ●

私たちは毎日安全に登校しています。しかし、登下校中に「危ないなあ」と感じる場合があります。そこで私たちは地域の交通安全について考えることにしました。4人で地域の地図を作成しました。たくさんの工夫をこらしました。工夫したことは交通当番の方が立っておられる場所にマークをつけたり、車が進入してくるところに「注意」とかいたりしたことです。私たちは地図を作成したことで交通安全の大切さを実感しました。

（『第14回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

入選



3年生の作品
『家から学校までの安全マップ』

入選



4年生の作品
『洛中安心安全MAP』

佳作



3年生の作品
『ぼくのと歩帰たくけいろと家のまわりのぼうさいマップ』

佳作



6年生グループの作品
『西尾安全MAP～西尾小学校周辺～』

佳作



3年生の作品
『草津駅周辺安全マップ!』

佳作



4年生グループの作品
『地域安全マップ (ふじき野1～3丁目)』

教えて!

国土交通省国土地理院主催
「全国児童生徒地図図優秀作品展」とは?

国土交通省国土地理院が主催し、全国の団体から推薦された「児童生徒の地図に関する作品」を集めて開催される。特に優秀な作品には、「国土交通大臣賞」、「文部科学大臣賞」が授与され、国土地理院「地図と測量の科学館」、国土交通省1階玄関ロビー、またNHKふれあいホールギャラリーの3会場で展示される。

佳作



4年生の作品
『地域安全マップ』



3年生グループの作品
『ぼくたちの安心な町マップ』

● 応募者のコメント ●

グループで学校の周りを歩いて、道路や歩道の安全なところ、危険なところを調べました。楽しい安全マップにするために、安全と危険な場所を絵で表現しました。

(『第14回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

教えて！ 地理情報システム学会特別賞とは？

第4回（2010年）マップコンテストにおいて共催いただいた地理情報システム学会より授与された賞である。



6年生グループの作品
『上高野安全マップ』

教えて！ コカ・コーラ特別賞とは？

第4回（2010年）マップコンテストにおいて後援いただいたコカ・コーラウエスト株式会社より授与された賞である。

第5回（2011年）入賞作品

第5回（2011年）の応募数は93点（個人71点、グループ22点）、総勢169名の小学生の参加があった。7名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作6点、株式会社パスコ特別賞1点の合計12点の入賞作品を選出した。また、このうちの6点を国土交通省国土地理院主催「第15回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦し、最優秀賞の作品（私の町の安全マップ 今新在家～四条大宮）は審査員特別賞を受賞した。3月に発生した東日本大震災の影響を受けて、災害をテーマとした作品の応募がみられた。今回の入賞作品は、全体の構成力、調べた内容の表現力、また色使いの鮮やかさにおいても優れた作品が多かった。

最優秀賞



4年生の作品

『私の町の安全マップ 今新在家～四条大宮』

● 応募者のコメント ●

私は、この安全マップを町で事故や事件が起こらないようにと思いながら作りました。町の危険な所を知ってもらうために、飛び出しボウヤやミラーを作る工夫をしました。また、町の様子がきちんと伝えられるよう、目印となる建物を具体的にかきました。安全マップ作りを通して、自分の安全意識が高まりました。この安全マップが多くの人々の安全意識を高め、事故や事件のない町づくりに役立てばうれしいです。

（『第15回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

おめでとう！



国土交通省国土地理院主催
「第15回全国児童生徒地図優秀作品展」
審査員特別賞を受賞。

優秀賞



3年生の作品

『ひとりでのれるよ 自転車安全・安心マップ 御所西』

● 応募者のコメント ●

自転車に乗ると歩いていた時とは違う「キケンな場所」がある事に気がついたので「自転車安全・安心マップ」の作成をしてみようと思いました。

自転車に乗る時にも交通ルールがありますがなかなか守られていないと感じました。歩いている人や他の自転車と事故をおこさない為にもそれぞれの立場から気をつける場所を確認するつもりで作りました。

（『第15回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

入選



4年生の作品

『京都の町 水の安心・電気の安全マップ』

● 応募者のコメント ●

ぼくは、6月に、東日本大震災での避難所に「京都福島応援隊」の一員として、父と一緒にボランティアに行きました。その時、電気や水を安全に安心して使える生活は本当にありがたいと思いました。京都の水道は1912年に蹴上浄水場から給水を始め、もうじき100年をむかえます。そこで、夏休みにいくつかの浄水場などの施設を見学し、京都市内の上下水道と水力発電について調べたものを地図上にまとめました。

(『第15回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

入選



3年生の作品

『家のまわりの安全、キケンマップ』

● 応募者のコメント ●

私は京都大学の前の百万遍に住んでいます。ここは学生さんのための飲食店が多くありますが、駐輪場がないため、路上駐車がが多く歩道がとてもせまくなっています。そこに学生さんが自転車で猛スピードで走って来るので、いつも自転車同士の事故や歩行者と自転車の事故が毎日のようにあります。本当は歩道は安心して歩く所なのに、私の家の近くでは安心して歩く事ができません。そこで、「キケン」な所を表すためにこの地図を作りました。

(『第15回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

入選



1年生の作品

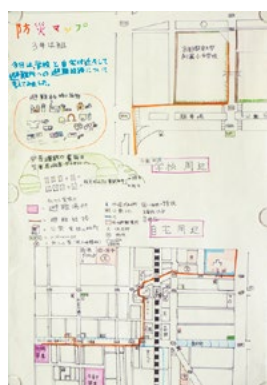
『知寄町1丁目、二葉町安全・安心マップ～交通安全、防犯、防災のまち～』

● 応募者のコメント ●

高知市知寄町1丁目、二葉町には、学校、図書館、公園があり、私が大好きなまちです。二葉町では、自主防災組織が立ち上げられ、避難訓練や防災学習等を通して、住民同士のつながりも深まってきています。このまちでみんなが安心して安全に暮らせるように、そして、災害や交通事故、犯罪に強いまちになるようにという願いをこめて、私はこのマップを作成しました。

(『第15回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



3年生の作品

『防災マップ』

佳作



3年生の作品

『四条通り安全安心いそマップ～四条ほり川から四条大宮まで～』

佳作



1年生の作品
『ぼくのまちマップ』

佳作



3年生の作品
『安心安全マップ～わたしの通学路～』

佳作



3年生の作品
『ほり川西の道路ひょうしきマップ』

佳作



3年生の作品
『山科音羽安全危険マップ』

株式会社パスコ特別賞



3年生の作品
『安全・安心・なんでもマップ』

応募者のコメント

あらためて町を歩くと、地域の防犯防災対策から交通マナーや喫煙マナーまで、普段気付かない色々な点が見えてきました。特にAEDは、マップ作り直前にサッカーの松田選手が亡くなり、その重要性を理解していたので、思った以上に多く設置されている事をみんなに知ってほしいという気持ちでした。京都が、住んでいる人にも観光客にも体の不自由な人にも、みんなに安全安心な町になってほしいと思い作りました。
(『第15回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

教えて！ 株式会社パスコ特別賞とは？

第5回（2011年）マップコンテストにおいて後援いただいた株式会社パスコより授与された賞である。

第6回（2012年）入賞作品

第6回（2012年）の応募数は26点（個人16点、グループ10点）、総勢68名の小学生の参加があった。京都府以外にも7都県からの応募があり、地域的な広がりがみられた。7名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作6点の合計11点の入賞作品を選出した。また、このうちの9点を国土交通省国土地理院主催「第16回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦した。全体的に、応募作品には安全安心に関わる豊富な情報が掲載されていた。そして、入賞作品には、配色を工夫して、多くの情報を上手に整理し表現しているものが多かった。

最優秀賞



4年生の作品

『さい害対さくと救えん活動』

●応募者のコメント●

ぼくが住む「熊本」では、今年7月の大雨で川があふれたり、山がくずれたりしたので、ぼくもちゃんと対おうできるように地図を作りました。調べてわかったことは、川があふれた時と山がくずれた時に使う「にげ道」や「ひなん所」がそれぞれ違っていったことでした。また、救えん活動をしていて思ったことは、さい害がいつ起きても対おうできるように、家族や地域の人たちと日ごろから話し合うことが大切だと感じました。

（『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

優秀賞



6年生の作品

『安心安全津波てんでんこMAP』

●応募者のコメント●

僕が住んでいる朝来地区は、舞鶴湾に面しています。しかも、住所は大きい波の上と書いて「大波上（おおばかみ）」。さらに海側へ1キロ程行くと「大波下（おおばしも）」があります。東日本大震災の津波の映像を見ている内に、この地名に何か意味がある様に思えて、頭から離れませんでした。そこで、インターネットで校区内の標高を調べ、避難ポイントを絞り、周りの大切な人たちが短時間で「てんでんこ」に避難するためのマップを作成しようと考えました。

（『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

入選



3年生グループの作品

『わたしの通学路 安全マップ&震災の時の逃げ道・私の通学路 安全安心マップ&震災の時はどう逃げるの?どこへ逃げるの?』

●応募者のコメント●

この地図は、わたしたち姉妹の通学路を表しています。歩きと路面電車で50分ほどです。ふだんは、子どもだけなので、家族といっしょに歩いて、あぶない所をかくにんしました。この地図には、もし広島に大きな地震が起きたり、つ波が来たりした時に、どこを通過してどこに逃げるか、家族で考えて記入しました。通学の中は家族とはなればなれなので逃げる場所をはっきり決めて、電話がなくてもかみならず会えるようにしました。

（『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



4年生の作品

『手作り防火防災マップ』

●応募者のコメント●

私は名倉小学校の防災キッズです。防災キッズの役目として、地域の安心安全な町を作る事が望まれています。そして、この夏休みを利用して、地域の防火防災マップを作る事にしました。毎日、母と6時から校区内のいろいろな所を回って約1か月かけて、このマップを作りました。火災が起きた時や、災害時に、役立つ物も、調べました。また、津波避難場所は長田にはまだありません。阪神淡路大震災をきっかけに避難場所を作られました。貯蔵庫も沢山作られました。ただまだ長田区には、津波避難場所が、出来ていません。東北地方でとても大きな津波が起きているのに、「長田は遅れているな～」と思いました。

(『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



2年生の作品

『高知えきのまわりのバリアフリー安心安全マップ』

●応募者のコメント●

私は足を骨折した経験から、体の不自由な人の気持ちに気づき、バリアフリーマップを作成しようと思いました。高知駅の周辺は、点字ブロックや視覚障害者・高齢者対応の信号機等、バリアフリー化はすすんでいるものの、狭い道路や駐車場の出入口では、車やバイクが急にとび出してきて危険な場所もありました。このマップが多くの人々の安全意識を高め、体の不自由な人だけではなく、みんなの安心・安全につながってほしいです。

(『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



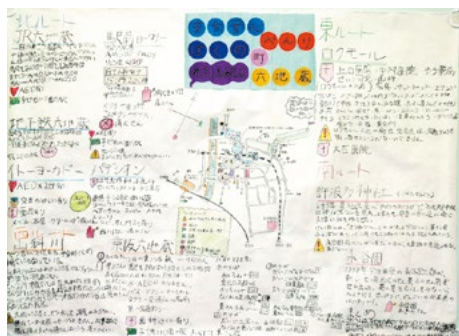
4年生の作品

『わたしの町のキケンマップ』

●応募者のコメント●

私の住んでいる百万遍で最近実際に目撃した事故の数々を表しました。特に近年、歩行者と自転車の事故がふえていると私は感じているので、もっとはっきり歩行者と自転車の道を分けるべきだと思います。この地図を作ったことにより、どこの大通りでも同じような事故が起きているのではないかと気付きました。大通りを通る時は、気を付けようと思います。

(『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



3年生の作品

『安全安心べんりれきしもあるよばくの町六地藏』

●応募者のコメント●

六地藏は、宇治市の最北端に位置し、山科川を渡ればすぐに京都市です。駅が3つもあり、大型店や、商店も多いので、大変便利で、人の流れも多い地域です。マップを作成するにあたり、東西南北4つのルートに分け、歩いてAED、消火栓、危険な箇所、加えて、歴史的な事柄を調べました。すると、便利な反面、通行量の多さから、危険な箇所も多い事が分かり、まとめることで、皆に、説明しやすくなると思いました。

(『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



1年生の作品
『安全みまもりマップ』

● 応募者のコメント ●

小学生が事故や事件に巻き込まれてしまう悲惨な昨今。痛ましい出来事を再び発生させてはならないという切なる思いでした。安全確保と一緒に通学路を歩き、危険な箇所や気をつける箇所を点検・確認を行いました。そして、認識させることにより、母親のいない孫娘が安心して通える通学路のマップができました。

(『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



4年生の作品
『私の通学路 安全MAP』

● 応募者のコメント ●

mapを作るため写真を撮りながら通学路を歩き大型トラックの交通量の多さを感じました。通学路からコンビニへと続く急坂を長いトレーラーがおりる姿は前転してしまいそうです。オリンピック道路に続くトンネルが夜10時～翌朝6時だけ無料のためその他の時間は広くまっすぐな有料道路をさけ狭くアップダウンがありカーブの続く通学路に迂回しているのです。通学時間帯だけでもトンネルが無料になれば安心して通学できます。

(『第16回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



4年生の作品
『私の地域の安全マップ in 中条～佳良木団地』

佳作



4年生の作品
『ぼくの地いきの安全マップ』

第7回（2013年） 入賞作品

2013年4月から歴史都市防災研究センターは歴史都市防災研究所へ発展改組され、事業をより継続的に進めていくことができるようになった。第7回（2013年）は62点（個人50点、グループ12点）の応募があり、総勢94名の小学生の参加があった。6名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点、佳作6点の合計12点の入賞作品を選出した。特に今回は優れた作品が多かったため、例年1作品である優秀賞に2作品を選出した。また、このうちの10点を国土交通省国土地理院主催「第17回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦した。過去に応募した経験がある児童が、再度応募するリピーターが次第に増えてきており、質の高い作品が多くみられた。

最優秀賞



3年生グループの作品

『わたしたちの安全安心ぼうはんマップ
~不しん者から身を守り、公園で楽しく遊ぼう~』

●応募者のコメント●

公園で子どもだけで遊んでいる時に不審者と出会ったことを想定し、この地図を作りました。この地図は公園の設備や防犯などについて得点化し、公園の順位を示し、工夫しました。この研究を通して不審者に出会った時の逃げる場所や対処方法がわかりました。また、地域の人々のインタビューから人々の優しさにもふれることができました。この地図が公園を利用する人々の安心や安全につながっていけばうれしいです。

（『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

優秀賞



3年生の作品

『安心！水から町を守る知え』

●応募者のコメント●

おどいや暗きよなど昔から京都の町を水から守る知えをはたらかせてきました。今でも賀茂川の水から京都の町を守る工夫をしています。これからも守る知えを考えていかなければいけないと思いました。

（『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

優秀賞



3年生の作品

『もっと置こう災害救援ベンダーマップ』

●応募者のコメント●

災害時に停電せず飲み物を供給できる災害救援ベンダーが、多くの住んでいる地区とその周辺にどのくらい設置されているかを調べました。その他の場所でも、災害救援ベンダーやそれ以外の自販機について分かった情報ものせました。災害救援ベンダー以外に、AEDがついている自販機があることも分かりました。また、体育館やショッピングセンターなど、設置した方がいいのに設置されていない場所があることも分かりました。

（『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



2年生グループの作品

『あぶない！私たちのまち出町の自転車安全ルールマップ』

●応募者のコメント●

ならいごとに自転車で通うようになり、そのときバス停が人でいっぱいだったり、歩道にたくさんの自転車がとめられていて、通りにくかったです。それで自転車のルールやきけんな道をしらべてみました。地図を作ってみて、ひょうしきや自転車撤去強化区域など、はじめてわかったことがたくさんありました。また自転車はルールを守っていない人が多いこともわかったので自分たちはちゃんとルールを守りたいです。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



5年生の作品

『わたしの町の交通量マップ』

●応募者のコメント●

私の町は最近、駅や球場、大型スーパーなどができ、車の交通量が増えました。そのため、道を歩いても、危ないと感じることが多くなったので、危険な所を改めて調べてみようと思いました。朝・昼・夕の時間帯で調べた結果を写真を使って表にしました。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



6年生グループの作品

『私たちの大切な命を守るには・・・in 平塚須賀』

●応募者のコメント●

私達の住んでいる平塚の須賀地区は、海がとても穏やかな所です。しかし一度（ひとたび）地震による津波が発生した際、須賀にも津波が襲ってくる可能性があります。その為、私達は地区の避難情報をまとめた地図を作成しました。この地区の海拔は海に近い所より、少し内陸部が低くなっている事、高い避難ビルが何棟もある事、等が確認できました。この地図を多くの人達に見てもらい、大切な命を守る事が出来たら、私達はとてもうれしく思います。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



4年生の作品

『ちびっこかいじゅうと歩く 安全おさんぽMAP』

●応募者のコメント●

私は、1才の弟とよく散歩に出かけます。弟は急に立ち止まったり、走り出したりするので、私はいつもハラハラしています。弟の行動を意識して散歩していると、弟と私とは目線の高さがちがうことがわかりました。弟は私の気づかないところで、おもしろい発見をします。また私は、弟にはわからない危ない場所を見つけました。小さな弟と、安全で楽しく一緒に散歩できるように、私と弟が気づいた発見をマップにまとめました。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



5年生の作品

『大州小学校に通う弟のための安全マップ』

● 応募者のコメント ●

この安全マップは今年1年生になった弟が、安全に通学したり外で遊んだりするために作成しました。ぼくの住んでいる地域は、工場が多く一本裏道に入ると歩道や信号がなかったり街灯がなく夜になると真っ暗になる所もあります。マップを作成してみて危険な場所も立ち止って確認しないとわかりにくい所もある事に気がつきました。だから危険というのは気づきにくいので日頃から近所の方と挨拶をしたり家族や近所の友達と日頃から話すことも大切だと思います。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



6年生の作品

『私の通学路 安全MAP』

● 応募者のコメント ●

私の家の周りには、たくさん危険があります。身近な所にある危険に気づかず、事故が起きることがあります。このマップには、へいの角や、カーブミラーがない曲がり道などの危険性、それがどれだけ怖いのかを分かりやすく説明してあります。そして、事故が少しでも減ってくれると嬉しいのです。私も、安全に気をつけて生活していきたいです。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



5年生の作品

『こんなときどうする？地震のときの避難MAP』

● 応募者のコメント ●

私は市バスで百万遍から北大路新町まで通学しています。学校では避難訓練をしていますが、通学途中で、近いうちに起こると言われている南海トラフ地震が起きた時にはどのように行動すればよいか、家族と一緒にこの夏休みに調べました。広域避難場所の確認と、家族との待ち合わせ場所等を話し合い、その結果、安心して通学できるようになりました。

(『第17回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



4年生の作品

『ぼくの通学路と住んでいる地域の安全・安心マップ』

佳作



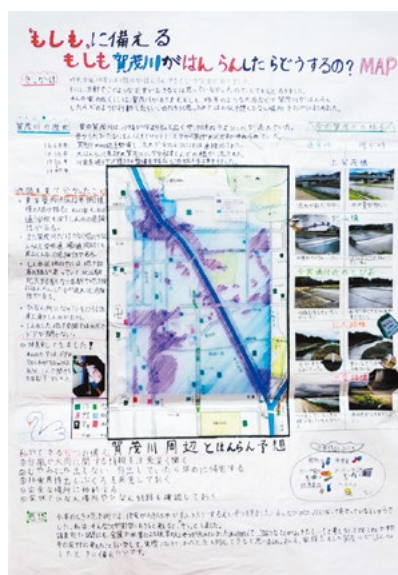
2-6年生グループの作品

『私たちの街No.1』

第8回（2014年）入賞作品

第8回（2014年）の応募数は48点（個人33点、グループ15点）、総勢73名の小学生の参加があった。6名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作6点の合計11点の入賞作品を選出した。また、このうちの10点を国土交通省国土地理院主催「第18回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦した。今回の特徴は、大人の視点では見落とされがちな子供の視点で描かれた作品が多かったことである。また、雷や土砂災害などこれまでにないテーマも見られ、それぞれ表現に工夫が凝らされたものであった。

最優秀賞



5年生の作品

『もしも賀茂川がはんらんしたらどうするの? MAP』

●応募者のコメント●

近年、全国各地で大雨や台風による災害がたくさん起きています。京都でも、昨年台風により桂川が氾濫し、大きな被害を受けました。私はこれまで、京都でこのような災害が起こるなんて思ってもみませんでした。私の家や学校の近くには賀茂川があります。もしも賀茂川が氾濫したら…どうしてしまいい、どうすれば良いのでしょうか。そして、その“もしも”に備えて、私にできることは何なのかを調べ、マップにまとめました。

（『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

優秀賞



3年生の作品

『もし下校している時がみなりがなったらどうする? (わたしの通学路安全マップ)』

●応募者のコメント●

雷が鳴る時は雨やどりがてら木の下に行きたくりますが、木の下は、雷が落ちるのであぶないという事を教わりました。私の通学路は木が多いのでその時はどうしたらよいのか考え、マップを作りました。このマップを見て雷が鳴った時は、どう行動したらよいのか考えてもらえたらうれしいです。

（『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

入選



6年生の作品

『突然おそってくる「土砂災害・水害」ご近所 防災MAP』

●応募者のコメント●

私の住む町は山の手で坂が多く、土砂災害警戒区域の中にすっぽり入っています。高齢者や障がい者は災害時に広域避難場所に向かうのはとても難しいと思います。傾斜を測ることにより、土砂災害時の勢いや危機感を感じてもらえると思います。このキツイ傾斜では沢山の人の助けが必要です。ご近所での普段からのお付き合いが大きな連携を生んで危機察知が出来ると信じています。災害に備える努力は今からでもすぐに出来る事です。

（『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



1・3年生グループの作品
『いのちをまもるマップ』

●応募者のコメント●

私たちは、近くの川がはんらんしそうになった時、こわいと思いました。だから、マップを作ることになりました。作りはじめて、広いきひなん場所がしん水する場所にあったのでふしぎに思いました。調べてみると、地しんがおきた時の火さいからにげるための場所でした。何も知らない事が分かったので、この地いきにおこるとそう定されるさいがいを調べて、地しんと水さいがいにについていのちをまもるマップを作りました。

(『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



2・4・5年生グループの作品
『「いざ」という時の安心安全マップ』

●応募者のコメント●

私達は、山が近くにある小さな集落に住んでいます。区民は高齢者が多く、今回初めて夏休みのラジオ体操後の時間を使って子供防災訓練を1週間かけて実施しました。その中で区民みんなが使える消火栓（ホースを65mmから40mm）を作ってみたり、交差点で事故がおこらなくなるようにするにはなど、小さな集落なりの防災について考えたことを一つの地図にしました。

(『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



5年生の作品
『私の住む街「宇品」の歴史に学ぶ浸水キケンマップ』

●応募者のコメント●

私の住んでいる「宇品」には、広島港があり海と川にはさまれた街です。山がないのに坂道がとても多く「どうしてだろう?」と、ずっと不思議に思っていました。市役所が発行している『浸水ハザードマップ』を見ると、宇品で浸水しない場所は道路だということがわかり、どうしてこのような土地になってしまったのか調べてみました。

(『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

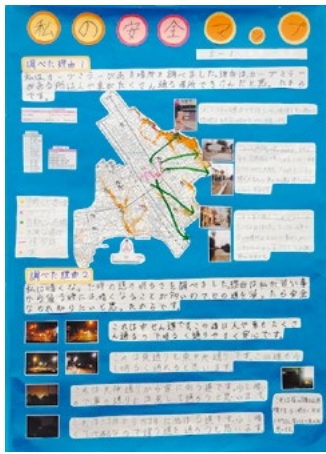


5年生グループの作品
『学校から高台(比治山)への逃げ方マップ 釜石の奇跡～広島版～・学校から高台(比治山)への逃げ方マップ 津波から一番に逃げよう』

●応募者のコメント●

私達の学校は、標高の低い広島市の三角州の中にあります。学校(標高0.3m)にいる時に、大地震で津波が来ることを想定すると、高台へ逃げないといけないと思います。学校から近い高台(比治山)までの1番近くて安全な逃げ方を考えました。実際、第1目標1850m地点まで走り続けるのは大変なので、およそ40歩ずつ走る歩くをくり返しました。1・2年生の子にもぱっと見てわかってもらえるように、表現を工夫しました。

(『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



5年生の作品

『私の安全マップ』

●応募者のコメント●

私の家の近くは国道17号線（中山道）が通り、交通量が多い場所です。しかし、少し道をはざれると暗い道も多く、人通りも少なくなります。そこで、私は詳しく家の周りの道路を調べてみようと思いました。

わかったこと

- ①危険な場所にはカーブミラーが設置されている
- ②交通量が少ない場所は街灯も少なく暗い道が多い。

（『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



4年生の作品

『賀茂川 水害から地いきを守るMAP』

●応募者のコメント●

賀茂川のしゅんせつ工事としらさぎの数の変化を調べてどのように賀茂川の安全が守られているかを考えました。動物や植物のことを考えて工事を行えばより豊かな賀茂川になる！！

（『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



6年生の作品

『災害時の下校MAP』

●応募者のコメント●

私はもし災害が起こり、家まで歩いて帰らなければならなくなった時に、どの道を通って帰ればよいのか？ということ調べてこのマップに記しました。このマップを作成したことで、帰宅支援ステーションの大切さ、決して近道が良いというわけではないということが分かりました。そして、帰宅支援ステーションの存在をもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

（『第18回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



6年生グループの作品

『私たちの通学路危険・安全マップ』

第9回（2015年）入賞作品

第9回（2015年）は全国から47点（個人30点、グループ17点）の応募があり、総勢122名の小学生の参加があった。7名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点、佳作6点の合計12点の入賞作品を選出した。今回は、優れた作品に対して甲乙を付け難かったため、例年1作品である優秀賞に2作品を選出した。また、入賞作品のうち7点を国土交通省国土地理院主催「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦し、最優秀賞の作品（防災ラジオMAP）は審査員特別賞を受賞した。さらに、優秀賞の作品（舟岡山の安心安全マップ）は、一般財団法人地図情報センター・株式会社帝国書院発行の「小学生地図作品展ポスター2016」に掲載された。今回の入賞作品は、毎年のように発生する自然災害への関心の高まりもあって、災害をテーマとする作品が多かった。

最優秀賞



5年生の作品

『防災ラジオMAP』

● 応募者のコメント ●

学校で川は風の通り道だと勉強し、その時、河川敷はラジオの受信環境としてはあまりよくないことに気づきました。しかし、僕の住んでいるところは、河川敷が広域避難所になっています。そこで防災ラジオを使う時、どの場所が適しているのかを調べたいと思いました。最も苦労した点は、ラジオの聞こえを記録する方法です。問題を解決し完成した時は、仕上がったばかりの地図を地域の人に役立ててもらいたいという気持ちになりました。

（『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

おめでとう！



国土交通省国土地理院主催
「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」
審査員特別賞を受賞。

優秀賞



3年生の作品

『舟岡山の安心安全マップー舟岡山のひみつー』

● 応募者のコメント ●

ぼくの家近くには舟岡山という山があります。舟岡山にはたくさんの木や草、虫たちもいて、とても自然豊かなところなんです。公園やグラウンドもあって楽しい遊び場ですが、暗いところや子供だけではあぶないところもあります。また、歴史との関わりも深く、色々なひみつがかくされています。ぼくは、この安心安全マップを作って、たくさんの人に舟岡山の魅力を知ってもらいたいです。

（『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



4年生の作品

『イノシシ出沒MAP』

●応募者のコメント●

家の裏には山があり、毎年冬になると一度は大きなイノシシを目撃していた。でも、一昨年から始まった山の奥の開発に合わせて、イノシシを見る機会が急に増えたように感じていた。今回、近所の方にも協力していただき、目撃情報をまとめながら、被害に合わないために自分たちができることについて、まとめてみた。

(『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



4年生の作品

『もしも、家の近くの川がはんらんしたら、どうするの?』

●応募者のコメント●

去年の夏、広島では豪雨による土砂災害が起こり、多くの命がうばわれました。私が住む町は災害が起こった場所とははなれていますが、家の近くの本川も水がにごり、流れがとても早く、「もしこの水があふれてきたらどうしよう」と思ってたことを覚えています。それが今回このマップを作ったきっかけです。自分や家族の命を守るために、もしもの時にそなえてあらかじめ準備をしておく事が大切だと改めて感じています。

(『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



1年生の作品

『ぼくのおんせんマップ こども110ばんのいえしらべ』

●応募者のコメント●

この地図は、隣の校区にある学童まで一人で通う息子が、もしもの時に助けを求められるお宅を一覧化したものです。夏休みに下校時通る可能性のある道全てを歩き、子ども110番のお家をはじめ、見守り隊のお家、公共施設やコンビニなどを記録しながら、その人に会い、お話してこれからご挨拶ができるようになりました。この地図を作った事で息子は、地域にどんなところがあり、どんな人が暮らしているのか関心が高まりました。

(『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



6年生の作品

『鳳徳学区のお地蔵さんマップー京の町を見守っておくんなはれやー』

●応募者のコメント●

私の住む町には、町内ごとにお地蔵さんがまつられており、夏には地蔵盆という地域の伝統行事があります。昔、火事や災害、病から子供達を守るためにまつられたお地蔵さんは、今も地域との関わりに欠かせない存在であり、私達をいつも見守ってくれています。

もしも災害などが起きた時、支え合える地域の人たちの存在が大切なのではないのでしょうか。約300年もの昔から受け継いだお地蔵さんの文化を私たちの手で守っていきたいです。

(『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



3年生の作品

『わたしの町のこども110番の家マップ』

応募者のコメント

小学校の周り650m四方の中に私の住んでいる家があります。「こども110番の家」があることは知っていましたが、どこにあるのか？ 何のためにあるのか？ くわしく知りませんでした。今回のコンテストがきっかけで自転車に乗って探してマップにしました。28件の家が見つかりました。しかしほとんどが小さなお店でした。昼間は安心ですが、朝晩はお店は閉まっているので不安です。人通りと交通量で道路の色分けを工夫しました。

(『第19回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)

佳作



2年生の作品

『わたしのちくの安全安心マップ』

佳作



6年生グループの作品

『中丸小学校の周りのキケン安全』

佳作



4年生グループの作品

『安全マップ』

佳作



2年生の作品

『たきのがわAEDマップ』

佳作



3年生の作品

『ぼくの家の周りの安全マップ』

第10回（2016年） 入賞作品

第10回（2016年）の応募数は72点（個人42点、グループ30点）、総勢169名の小学生の参加があった。今回初めて応募のあった4県を含む全国13府県から応募があり、また一段と全国的な広がりが見られた。8名の審査委員による厳正な審査の上、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作5点の合計10点の入賞作品を選出した。また、このうちの7点を国土交通省国土地理院主催「第20回全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦し、最優秀賞の作品（校区安全マップ）は奨励賞を受賞した。今回は、地域全体を俯瞰する鳥の目と、自身の目線で確認する虫の目という2つの視点をうまく組み合わせた作品が多かった。

最優秀賞



6年生の作品

『校区安全マップ』

● 応募者のコメント ●

校区の危険箇所を自分自身で確認し、それを広めることでみんなが安全に生活できるようにと考え作成しました。みんなが覚えやすいように学校名の「くらはしだい」を合い言葉にした標語を作ったり、こども110番のいえを一軒一軒確認したり、使いやすい安全マップを目指して作りました。取材中、たくさんの人に励ましの声をかけて頂き、地域みなさんに守られていることを実感し、校区の良さを実感することができました。

（『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）

おめでとう！



国土交通省国土地理院主催
「第20回全国児童生徒地図優秀作品展」
奨励賞を受賞。

優秀賞



2年生の作品

『西陣中央安心安全マップ』

● 応募者のコメント ●

わたしがマップを作ったきっかけは、西陣のまちのことをもっとよく知りたかったからです。マップの中で、安全・注意・キケンポイントを青・黄・赤のシールで貼り分けて、調べていくうちに、みんながキケンと思う場所には、見守り隊がいてくれたり、標識があったり、安全のための工夫がたくさんあるけれど、わたしが気付いた場所の中には、安全の工夫が少ない所もあったので、自分で注意して身を守ることも大切だとわかりました。

（『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋）



2年生の作品

『じしん、大雨、ふしんしゃなどのにげみちマップ』

●応募者のコメント●

通学で地震等の場合、具体的にどこへ逃げればよいか分からなかったで、このことが一目で分かるよう、マップを作成しました。現地へ行って、現在地毎に、どこの場所へどのルートで逃げるのが安全かつ一番近いかを調査し、また、逃げ場所への途中で子供110番の家等で解決するなら、逃げ場所まで行く必要がないことが分かりました。マップ作成では、逃げ場所への4ルートを色別等にして、必要な情報が目立つようにしました。

(『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



5年生の作品

『府中町の安心安全マップ 水のゆくえ』

●応募者のコメント●

二年前広島市で起きた土砂災害をきっかけに、「私の町は大丈夫かな」という思いでこの安全マップを書きました。私の町は海拔が近く、皆川のはんらんで多くの人が亡くなりましたが、今は町の川には沢山のパイプがあり、川の水が増えたと違うところに流してくれます。私が伝えたかったことは、広島の人が協力してこの一つの町に暮らす人の命を一生懸命に守っているということで、次は広島県、日本中が安全になることを願っています。

(『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



6年生の作品

『交通安全MAP-御園橋-』

●応募者のコメント●

御園橋の交通状況について調べまとめました。その中で自転車の利用が交通状況を悪くさせていることがわかりました。これからの自転車の利用をどのように考えていけばよいか注意深く見守っていく必要があると僕は思います。

(『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



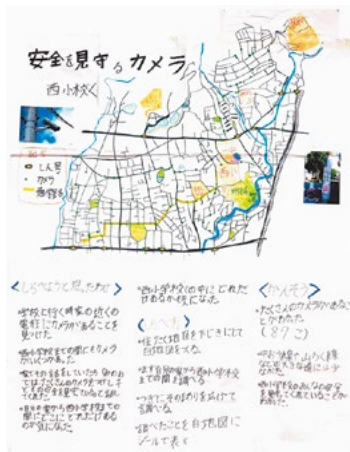
6年生グループの作品

『安全マップへ石積み町の坂本へ』

●応募者のコメント●

この作品は、3年生の地域学習を発展させて、児童会が中心となって作成したマップである。まず、4年生から6年生にアンケートを実施し、学区の危険箇所を決めた。その後、児童会メンバーと先生とでその場に出向き、危険度や改善の必要が高い場所を優先して、マップに書き込んだ。見やすさも大事だと思い、写真やイラスト、地域のマスコットキャラクター吉鳥（よしちょう）なども書き入れた。

(『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)



4年生の作品
『安全を見守るカメラ』

●応募者のコメント●

学校の帰り道に防犯カメラを見つけました。よく見るとあっちにもこっちにもある。何個あるのかなぁと思って、数えながら帰りました。夏休みに、校区の防犯カメラを数えるために、自転車で校区を何日かけて回りました。なんと100個以上もありました。地図に表してみるとそのほとんどが通学路にあることが分かりました。市役所に行って地図を見てもらって、なんと防犯カメラの中を見せてくれました。防犯カメラは、犯罪を防ぐ力があるそうです。こうやって24時間、私たちの安全を見守ってくれています。



1年生の作品
『わたしのすまちな南福西町あんぜんせんMAP』

●応募者のコメント●

私の街は、竹林や川に囲まれたきれいで便利な街です。でも最近、若い人や子供がへり、お年よりが増えたので、今まで安全だと思っていたことが安全ではなくなりました。そこで、子供たちとお年よりが安心して住めるようMAPを作成しました。作成には、街の中を何度も何度も歩いてみると、危ない所がたくさんありました。私は地図を作る前に、自治会長や役所に報告しました。危ない場所やおすすめの場所は写真撮影し、色分けしたメッセージカードといっしょに、地図上に立体的に貼り付けました。また、消火器や消火栓は、一つ一つ設置場所を細かく記しました。民家ガレージ内に設置されており、火事の時に使えないものもありました。MAPは完成しましたが、街の安全は未完成です。今回調べたことを、街のみんなで共有し、もっとすてきな街になるようにしたいと思います。



4年生の作品
『グラグラマップー地震にそなえる安全安心マップー』

●応募者のコメント●

今年3月、熊本で大地震が起きました。ぼくは、ぼくの住んでいる京都にも多くの活断層があることを知って、こわくなりました。僕の町で大地震が起ったら、どのような場所が危険なのか、また安全に避難出来る場所はどこなのかを調べ、このマップにまとめました。このマップを見た人が、地震に対して備えたり、家族や地域で話し合うきっかけになったらいいと思います。



4年生の作品
『地域安全マップ』

●応募者のコメント●

夏休みという時間に余裕がある期間を利用し、普段生活している北本市立中丸小学校区を実際に歩いてみて細かな箇所を調べ、地域安全マップを作成しました。その結果、交通事故や事件に巻き込まれないためには、常に周りを意識することが最も大切なことだと思いました。このマップを通じて危険を回避する力が高められ、地域の方々とのネットワークを強めていくという考えが、共有できれば良いな、と思いました。

(『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋)